

第 24 回世界建築会議 UIA2011 東京大会



会期:2011年9月25日(日)-10月1日(土)

メイン会場=東京国際フォーラム/丸の内地区/日本橋地区

サブ会場=六本木ヒルズ/国立オリンピック記念青少年総合センターほか

主催:国際建築家連合(UIA)

UIA2011 東京大会 日本組織委員会(JOB)

※記載したプログラム等は9月1日現在のものです。

UIA 大会は、約 130 の世界の国・地域から約 1 万人の建築関係者が集う国際的なイベントです。1948 年のローザンヌ大会(スイス)以来、ほぼ 3 年ごとに世界の各都市で開かれてきた UIA 大会が、日本で開催されるのは、今回が初めてです。

UIA2011 東京大会(第 24 回世界建築会議)のメインテーマは「DESIGN 2050」。建築家をはじめ、世界の各分野の専門家が知恵と技術を結集して近未来のヴィジョンを描き出し、その成果を「東京宣言」として、世界に発信します。

メインテーマ DESIGN 2050

Beyond Disasters, Through Solidarity, Towards Sustainability

3 月 11 日の東日本大震災は、極めて大きな問題を日本だけでなく世界に投げかけ、気候変動や人口問題など、21 世紀に入ってから世界規模で諸問題が深刻化し、これからの建築や都市のあり方に、大きな影響を与えることになるでしょう。

では、こうした状況のもと 21 世紀の建築や都市はどうあるべきなのでしょうか？

この問いかけに対して、UIA2011 東京大会で掲げるテーマが「DESIGN 2050」です。

今大会では、こうした世界が直面するさまざまな課題を踏まえつつ、2050 年にあるべき未来像を描き出し、そこに向けて持続可能な建築環境や生活の質を「デザイン」していくための道筋を探ります。



サブテーマ

環境

地球温暖化やエネルギーなどの低酸素社会の実現に向けたテーマのほか、津波・地震といった自然災害、水や農業まで、多様な環境問題を扱います。特にこれらの分野では、これまでに日本が培ってきた先端的な技術や取り組みを世界に示すことができます。

文化

インターネットでつながったグローバルな情報化社会における経済や都市、交通などのあり方に加え、都市景観や歴史的遺産、文化交流、教育などについて幅広く議論します。

生命

爆発的に増える世界の人口や、先進各国の少子高齢化、多様なライフスタイル、農漁村の地域社会、医療など、21 世紀の生命と生活にかかわるテーマを広範に取り上げます。生物多様性など、地球上の様々な生命にも視点を注ぎます。

UIA2011 東京大会スケジュール

9.25 sun

ウエルカム・ネットワーキング

会場＝六本木ヒルズ、東京シティビュー／17:30 – 20:30

UIA 理事会

会場＝東京国際フォーラム ホール D5／09:00 – 17:00

9.26 mon

開会式

会場＝東京国際フォーラム ホール A／10:00 – 10:40

基調講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／14:00 – 15:10

クリスト アーティスト(米国)

1935 年ブルガリア生まれ。ブルガリア・ソフィア、オーストリア・ウィーン美術アカデミーで学んだ後、パリに移る。58 年パートナーのジャンヌ・クロードと出会う。64 年ニューヨークに移住。代表作は「包まれたライヒスターク、ベルリン、1971-95」、「ゲート、ニューヨーク市セントラルパーク、1979-2005」など。



右:「包まれたライヒスターク、ベルリン、1971-95」
(2点とも©Christo and Jeanne-Claude, photo: Wolfgang Volz)

特別講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／15:30 – 16:30

ウラディミール・スラペタ 建築家・歴史家(チェコ共和国)

1947年チェコ共和国生まれ。72年プラハ工科大学卒業。73年より様々な大学で教鞭を執り、現在はプラハとブルノにある工科大学建築学科の教授。著書に、「*Czech Functionalism 1918-1938*」(AA London、87年)、「*Brno Functionalists*」(ヘルシンキ、83年)など。



下＝*Czech Functionalism* <AA London>(写真：2点とも ©Archive Vladimír Slapeta)

公開プログラム

会場＝東京国際フォーラム ホール A／19:00 – 21:00

安藤忠雄 建築家(日本)

1941年大阪市生まれ。独学で建築を学び、69年安藤忠雄建築研究所を設立。

米国のイェール、コロンビア、ハーヴァードの各大学で客員教授を歴任。1997年東京大学教授。2003年同大学名誉教授。主な作品は、「住吉の長屋」(大阪)、「六甲の集合住宅 I・II・III」(神戸)、「光の教会」(大阪)、「FABRICA」(イタリア)、「ピューリッツァー美術館」(米国)、「地中美術館」(香川)、「表参道ヒルズ」(東京)、「プンタ・デラ・ドガーナ」(イタリア)。



左＝写真：安藤忠雄建築研究所
右＝21_21 DESIGN SIGHT(写真：松岡満男)

9.27 tue

特別講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／17:30 – 18:30

SANAA 妹島和世+西沢立衛 建築家(日本)

妹島和世／1956年生まれ。81年日本女子大学大学院修了。伊東豊雄建築設計事務所を経て、87年妹島和世建築設計事務所設立。95年西沢立衛とともにSANAA設立。

西沢立衛／1966年生まれ。90年横浜国立大学大学院修士課程修了、妹島和世建築設計事務所入所。95年妹島和世とともにSANAA設立。97年西沢立衛建築設計事務所設立。

代表作は、「金沢 21 世紀美術館」(石川)、「トレド美術館ガラスパビリオン」(米国)、「ニュー・ミュージアム・オブ・コンテンポラリー・アート」(米国)、「ロレックス・ラーニング・センター」(スイス)など。主な受賞は、ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞、日本建築学会賞作品賞、プリツカー賞など。



左＝写真：岡本隆史
右＝ロレックス・ラーニング・センター
(写真：SANAA)

学生コンペ入賞者プレゼンテーション／表彰式

会場＝東京国際フォーラム ホール D7／15:30 – 18:30

隈 研吾 建築家(日本)(学生コンペ審査委員長)

1954年生まれ。79年東京大学大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、2001年より慶應義塾大学大学院教授。09年より東京大学大学院教授。代表作は「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」(宮城)、「那珂川町馬頭広重美術館」(栃木)、「Great Bamboo Wall」(中国)、「根津美術館」(東京)など。日本建築学会賞作品賞、国際木の建築賞など受賞多数。



左＝写真：隈研吾建築都市設計事務所
右＝構原・木橋ミュージアム(写真：太田 拓実)

表彰式

会場＝東京国際フォーラム ホール A／19:00 – 21:00

槇文彦氏や安藤忠雄氏も受賞した UIA ゴールドメダルをはじめ、オーギュスト・ペレ賞やジャン・チュミ賞など UIA 各賞の表彰式が行われます。

9.28 wed

特別講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／09:00 – 10:00

クリストフ・インゲンホーフエ 建築家(ドイツ)

1960 年ドイツ生まれ。78 年～84 年アーヘン工科大学、デュッセルドルフ芸術アカデミーで建築を学ぶ。85 年イーゲンホーフエン・アーキテクツ設立。代表作は、「ルフトハンザ航空新社屋」(ドイツ)、「欧州投資銀行」(ルクセンブルク)、「ブリーゼタワー」(大阪)、「スワロスキー本社」(スイス)など。



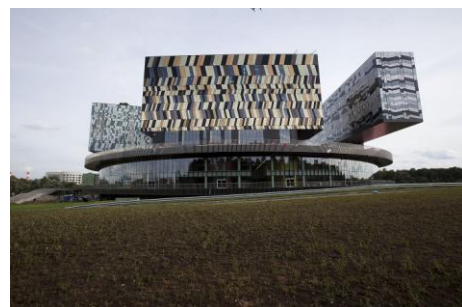
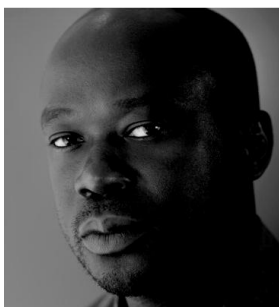
左＝写真：H.G. Esch／右＝欧州投資銀行(写真：Andreas Keller)

特別講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／10:15 – 11:15

デイヴィッド・アジャイ 建築家(英国)

1966 年タンザニア生まれ。英国王立芸術大学修士課程修了。デイヴィット・チツパーフィールド事務所などを経て、2000 年ロンドンを拠点とするアジャイ／アソシエイツを設立。現在、英国王立芸術大学の客員教授。最近作は「モスクワ経営管理大学院 SKOLKOVO」(ロシア)など。



下＝モスクワ経営管理大学院 SKOLKOVO(写真：2 点とも Ed Reeve)

基調講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／13:00 – 14:00



写真提供：ブータン首相府

ジグメ・ティンレー ブータン王国首相(ブータン王国)

1952年ブータン生まれ。

インドのデリー大学セント・ステファン・カレッジで学士取得、その後米国のペンシルヴァニア州立大学にて MPA を取得。ティンレー氏は、ブータンで初めて民間より選出された首相である。2008年の総選挙でブータン調和党を率いて 47 議席中 45 議席を獲得し圧勝した。それ以前にも外務大臣や内務文化大臣を務めた経歴を持つ。

また、ティンレー氏は、広い分野において随筆や論文を出版しており、国連総会をはじめ、多数の講演やセミナーなどを行っている。彼は、国王による開発政策の概念である「国民総幸福量」の強い主唱者であり、国内外での講演においてそのことを語ることが多い。

ティンレー氏は、環境保護にもかかわっており、ブータンの学校で環境に関する講義を展開しながら、各学校長に「ゴミのない緑の学校」となるよう公約をさせ続けている。現在、国立環境委員会の会長および、ウゲン・ワンチュク環境保全協会(UWICE)の会長を務めている。

2009年にはブータン国王より民間人の最高の勲章であるメダルを授与された。また、その他近年でも数多くの賞を受賞している。

基調講演

会場＝東京国際フォーラム ホール A／17:00 – 18:00

榎 文彦 建築家(日本)

1928年生まれ。東京大学とハーヴァード大学で学んだ後、教鞭を執る。65年榎総合計画事務所設立。62年・84年日本建築学会賞作品賞、93年UIAゴールドメダル、プリツカー賞、2001年日本建築学会賞大賞。代表作は、「ヒルサイドテラス」(東京)、「スパイラル」(東京)など。



右＝スパイラル(写真：北嶋俊治)

閉会式

会場＝東京国際フォーラム ホール A／18:15 – 19:15

9.29 thu

UIA 総会

会場＝東京国際フォーラム ホール B7／09:00 – 18:00

9.30 fri

UIA 総会

会場＝東京国際フォーラム ホール B7／09:00 – 18:00

10.1 sat

UIA 総会

会場＝東京国際フォーラム ホール B7／09:00 – 13:00

UIA 理事会

会場＝東京国際フォーラム ホール D5／15:00 – 17:00

* UIA 総会・理事会への出席は、原則として UIA 理事や委員、各国・地域の代表などに限られます。

テーマセッション

9月26日(月)-27日(火)

会場＝東京国際フォーラム ホールA

日本の若手建築家のコーディネーションのもと、日本における大震災をふまえ、グローバルな観点からサブテーマに沿った未来社会構築に向けた議論を展開します。

26日に2つのテーマセッション(1:世界が直面する問題:戦争、自然災害、貧困、地球環境、2:世界が直面する新たな情報社会)、27日に「大震災を克服し、災害のない未来社会」を構想する3つ連続セッション(1. Environment、2. Culture、3. Life のそれぞれの観点から)を行う予定です。

テーマセッション1: 災厄の後、住まうことの希望は再生可能か

9月26日(月) 午前11時30分 - 午後1時30分

コーディネーター: 小野田泰明 (建築家/日本)

パネリスト: プラティマ・ジョシ (建築家・社会活動家/インド)、デイヴィッド・アジャイ (建築家/英国)、伊勢崎賢治 (武装解除人/日本)

テーマセッション2: 「2011年以後」の都市はどうなるか

9月26日(月) 午後4時45分 - 午後6時45分

コーディネーター: 藤村龍至 (建築家/日本)

パネリスト: ジョルディ・ギメ (WP中規模都市:都市化と開発担当/スペイン)、大野英敏 (建築家/日本)、劉 域 (建築家/中国)

テーマセッション3: これからの環境建築を考える (無料公開)

9月27日(火) 午前9時 - 午前11時

コーディネーター: 小泉雅生 (建築家/日本)

パネリスト: トーマス・レヒナー (環境工学/ドイツ)、マドゥラ・プレマティリケ (環境建築家/スリランカ)、マトス・サンタムリス (環境デザイン/ギリシャ)

テーマセッション4: 自然と共存しうる技術とは何か (無料公開)

9月27日(火) 午前11時30分 - 午後1時30分

コーディネーター: 太田浩史 (建築家/日本)

パネリスト: パオラ・アントネッリ (ニューヨーク近代美術館/イタリア)、伊東豊雄 (建築家/日本)、フィリップ・ラム (建築家/フランス)、タレク・ナガ (建築家、エジプト)

テーマセッション5: ネットワーク時代の建築家像と建築家の職能 (無料公開)

9月27日(火) 午後3分 - 午後5時

コーディネーター: 槻橋修 (建築家/日本)

パネリスト: ジェフリー・イナバ (建築家/米国)、高橋和志 (株式会社高橋工業代表取締役/日本)、アナ・トステス (ドコモモ会長/ポルトガル)、カリン・スマッツ (建築家/南アフリカ共和国)

論文・建築デザイン発表/ポスターセッション

9月26日(月)-28日(水) 午前・午後

会場=東京国際フォーラム ホール B5・ルーム G502/G510/G610

3つのサブテーマに則して、国内外から論文や建築デザインを募集。審査で選ばれた応募者が、自らの論文・建築デザインを発表するのとともに、ポスター形式の発表も行います。募集は2010年10月31日で終了。論文は65カ国から490点、建築デザインは38カ国から249点の応募がありました。

ワークショップ

9月26日(月)-28日(水) 午前・午後

会場=東京国際フォーラム ホール D5/D7・ルーム G402/409・展示ホール

「サステナブル建築」「建築と社会」「都市化」「ハビタット」「文化の独自性」「施設」という6区分のもとで設けられている12分野のUIAワークショップに関する活動発表会やシンポジウムを行います。

ユース・ジャンボリー

チェックイン=9月22日(金)/作業・レクチャー=23日(金)-27日(火)/発表・講評会・解散式=28日(水)/チェックアウト=29日(木)

会場=国立オリンピック記念青少年総合センター(22-27日、29日)/COREDO室町、日本橋三井ホール/東京国際フォーラム ルーム G409(28日)

建築を学ぶ国内外の学生(大学生・大学院生)や、若手の建築実務者を対象とした国際ワークショップ。テーマ「KIZUNA - agenda of Tokyo beyond 3.11」のもと、未来の建築の新たな可能性を探求します。

ツアー/街歩き:

UIA2011 東京大会の開催にあわせて、日本各地の宿泊・日帰りツアーや、東京の街歩き、建築見学会などが開かれます。詳細は、公式ウェブサイトをご覧ください。

企業展示会:

- ・第10回 すまい・建築・都市の環境展 ecobuild 2011
- ・第33回 Japan Home & Building Show

シンポジウム／ワークショップ:

- ・国際シンポジウム、「危機を機会に！」
- ・〈災害における専門家の国際的連携と支援活動〉シンポジウム
- ・コミュニティ・アーキテクト・シンポジウム:地域に根ざした建築技術者集団像の提言と確認
- ・建築のセレンディピティ:遊び感覚で建築の原理を学ぶ
- ・建築の解剖医学:地震国で建物の寿命を2倍以上にする
- ・「2050年の建築家」を考える
- ・日本の建築
- ・シンポジウム「東京の建築のいま」と東京都庁舎見学
- ・アジアの持続可能な未来都市

展覧会:

- ・一万人の世界建築家展
- ・日本の匠たち展
- ・東京を創る展
- ・アーキニアリング・デザイン(AND)展
- ・UIA ゴールデンキューブ賞作品展
- ・open! architecture 2011
- ・TOKYO チェア・シティ展
- ・2050 Earth Catalogue 展
- ・Green Architecture of Asia : アルカシア展
- ・タイ王国建築展
- ・メタボリズムの未来都市展
- ・建築大学展

周辺、その他のイベント:

- ・UIA 千人茶会
- ・DOCOMOMO Japan 150:未来への遺産展
- ・環境・設備デザイン賞作品展
- ・Tradition is Innovation -ポルトガルの現代建築展
- ・第3回ソーラーエネルギー利用推進フォーラムシンポジウム
- ・国際建築イラストレーション展
- ・世界住宅会議
- ・Alternative Architecture Standard Summit 2011
- ・Factor 4 City Design Workshop
- ・親子家づくりワークショップ

- ・日本建築写真家協会展
- ・DAAS 展
- ・未来へー日米女性建築家のパイオニアたちの肖像展
- ・World Architecture Festival 2011 Preview in Japan
- ・Vision of the Metropolis
- ・建築系ラジオ
- ・ケンチク映画祭

コンペ:

- ・建築家とあかりコンペ 2011
- ・JIA 全国学生卒業設計コンクール 2011
- ・シェルター学生コンペ 2011
- ・第 46 回セントラル硝子国際建築設計競技

参加登録

UIA2011 東京大会への参加には、参加登録が必要です。参加登録料が割安な「早期割引」は **2011年8月31日** をもちまして終了致しました。なお、ホームページからの登録締め切りも **8月31日** で終了しております。

詳細は、公式ウェブサイト(www.uia2011tokyo.com)をご覧ください。

参加登録料

	現地登録: 東京国際フォーラム (9月25日~28日)	早期割引 (8月31日まで)
一般	50,000 円	40,000 円
同伴者 (1名につき2名以下)	30,000 円	24,000 円
学生	15,000 円	15,000 円

※学生は、大学生・大学院生とします。

登録に際して、学生証のコピーを FAX にて登録事務局まで送付してください。

注)参加登録の権利を、他者に移譲することはできません。

注)現地での参加登録料のお支払いは、現金払いもしくはクレジットカード(VISA, MasterCard, American Express, Diners Club, JCB)によるものとします。

参加登録料に含まれるもの

	一般	同伴者	学生
式典参加	○	○	○
公式プログラム参加	○	×	○
ウエルカム・ネットワーキング参加	○	○	○
コンGRESキット	○	×	○

※「式典」は開会式・表彰式・閉会式、「公式プログラム」は基調講演・特別講演・テーマセッション・ワークプログラム・学生コンペ・論文・建築デザイン発表・ポスターセッション・ユースジャンボリーなど、「コンGRESキット」は公式ガイドブックなど大会参加者への配布資料です。

また同伴者の方々は、基調講演・特別講演・テーマセッションも参加できます。

www.uia2011tokyo.com

UIA2011 東京大会 日本組織委員会(JOB)

150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館

Tel: 03-5411-7271 Fax: 03-5411-1182

E-mail: contact@uia2011tokyo.com